

チャペル週報

収穫は多いが、働き手が少ない。だから、
収穫のために働き手を送ってくださるように、
収穫の主に願いなさい。

(ルカによる福音書10：2b)



ランバス記念礼拝堂

2008.11.17~11.21 No.20
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 11月17日(月) ランバスチャペルアワー「新月」ランバス記念礼拝堂
神 上田直弘(M2)
経 人間を考える 巖 廷美(経済学部准教授)
人 ランバスチャペルアワーに合流
-
- 11月18日(火) 神 武田 丈(人間福祉学部准教授)
文 田 淵 結(宗教主事)
社 共に生きる 藤井美和(人間福祉学部准教授)
法 秋の音楽チャペル パロックアンサンブル
経 人間を考える 大高博美(経済学部教授)
商 上ヶ原ハピタット
総 Paul Hays & 今泉信宏 Dialogue
-
- 11月19日(水) 神 『主の祈り』シリーズ 平林孝裕(神学部教授)
社 共に生きる 古浦修子(文D1)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 人間を考える(最終回) 山田 仁(経済学部准教授)
商 今井 讓(商学部教授)
人 学生によるチャペル
理 「真理」 松木 真一(宗教主事)
総 秋の音楽チャペル 聖歌隊(上ヶ原)
-
- 11月20日(木) 神 秋の音楽チャペル ハンドベルクワイア
文 上ヶ原ハピタット
社 上ヶ原ハピタット
法 秋の音楽チャペル パロックアンサンブル
経 千刈リーダーズクラブ
商 English Chapel Richard J. Stinson(宣教師)
総 「モンゴル体験」 上野ゼミ生
-
- 11月21日(金) 院 中道基夫(神学部准教授)
神 島 並千恵(M2)
文 秋の音楽チャペル パロックアンサンブル
経 舟木 讓(宗教主事)
人 上ヶ原ハピタット
理 「慰めを求めて」 Ruth M. Grubel(院長)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

11月21日(金) 法学部のために 木村 仁
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於:宗教主事室

「土を耕す者」として創られた「土の塵」

福 島 旭

この食事の恵みが世界中の人々にも与えられますように 毎日、午前11時30分になると、各クラスの当番12人の中学部生たちが毎日ささげている祈りの一節です。いつの日からか伝統的に、そして習慣としてこの祈りが定着しています。

中学部は高等部と共に「感謝・祈り・練達」をモットーに歩んでいます。「感謝と祈り」は食事、そして収穫感謝の主題そのものです。毎食前にいのちの意味を見つめ、自分のいのちが維持されるためにいただく食事に感謝できる畏敬の心は中学部教育の根幹でもあります。一方、毎年10月の生徒献金は国連が制定した10月16日の「世界食糧デー」を覚えてささげていますが、その日の一食分を節約して献金をささげる目標を立ててはいるものの、成長盛りの生徒たちは恵まれた生活の中ではなかなか飢餓を体感できない現実生きています。

私は幼少期、家に畑があり、家庭菜園を楽しんでいました。きゅうり、トマト、ナス、ししとうなどは食べきれないほど収穫でき、肥と水をやるだけで小さな苗から作物ができる不思議さを実感する経験は私の宝物になっています。以前、幼稚園の園長をしていた頃、秋になると園児たちと芋掘りに出かけました。土まみれになって自分の顔より長い芋を掘り当てた園児たちは、次から次へと私に笑顔を見せてくれます。私は思わずシャッターを押していました。そんな園児たちと11月には土が付いた農作物を持ち寄り収穫感謝礼拝をささげていました。子どもの頃に土に触れることは間違いなく重要な学習であります。

最初の人間アダムに課せられた役割は「土を耕す」ことであつたと聖書には記されています(創世記2:5)。英語で「耕す」という語は「文化」という意味と関連していますが、日本語の「耕す」はもともと「田をひっくり返す」という意味があります。アスファルトやコンクリートで土を覆い、土に触れる機会を減らし続ける現代社会のあり方は根底からひっくり返されないといけない段階になってしまっていないでしょうか。特に食料自給率が40%の国に暮らす者としてのこのままではいけないという危機感を感じます。

ところでアダムという名前には「土の塵」という意味があります。神が人間に与えられた使命、それは土を耕すことを通して自分という存在の根源を問い直し、文化的営みによって神の創造の業に参与していくことです。上ヶ原で毎日ささげられる12人の生徒たちの食前の祈りがただの習慣ではなく、土の温かさ、すなわち自分たちに与えられたいのちの温もりをしっかりと受け止め、耕し、時にひっくり返し、そして成長させていく決意であり続けてほしいと願っています。

(中学部宗教主事)

●吉岡フェスティバル

吉岡記念館に所属する学生音楽団体がミニコンサートを開催いたします。
昼休みのちょっとした息抜きに、楽しい一時を過ごして見ませんか。
どうぞお越しください。

日 時：11月20日（木）12時50分～13時25分 会 場：吉岡記念館ラウンジ
参加団体：バロックアンサンブル、聖歌隊、ハンドベル、ゴスペルクワイア

●2008年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights-人権文化を育む（2005年度～2009年度）

日 時：11月25日（火）午後1時30分～午後3時00分

場 所：上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール

講 師：友永健三氏（部落解放・人権研究所 所長）

題 目：今、改めて人権について考える～世界人権宣言60周年を迎えて
手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

【パネル展の開催】

世界人権宣言の前文と第1条から第30条までの各条文を黒田征太郎氏のイラスト付でわかりやすく表現したパネル展を、2008年11月25日（火）～11月28日（金）まで吉岡記念館ラウンジで開催する。

日 時：11月27日（木）午前11時10分～午後0時40分

場 所：上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール

講 師：森達也氏（映画監督、作家）

題 目：世界はもっと豊かだし人はもっと優しい
—不安と不信のスパイラルを抜け出すために—
手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

日 時：11月27日（木）午後3時10分～午後4時40分

場 所：神戸三田キャンパスⅡ号館102号教室

講 師：森達也氏（映画監督、作家）

題 目：世界はもっと豊かだし人はもっと優しい
—不安と不信のスパイラルを抜け出すために—
手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●第179回ランバス演奏会「ルネサンス・クリスマス」

毎年好評をいただいている、平井満美子（ソプラノ）&佐野健二（リュート）による演奏をたっぷりお楽しみください。

と き：12月4日（木）17時開演 ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）
<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストとして活動しており、現在までに発売されたデュオCD6点全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、下記のとおりチャペルアワーを開催しています。どうぞご参加ください。

11/21（金）、28（金）田淵 結（大学宗教主事）

いずれも18:00～18:20 1405教室にて